

# 長浜メディケアセンター（厚生労働大臣表彰奨励賞）

## 基本情報

- ◆ 社会福祉法人青祥会
- ◆ 長浜メディケアセンター
- ◆ 滋賀県長浜市
- ◆ 利用者数:104名 従業員数:97名
- ◆ HP:<https://www.seishokai.jp>

※利用者数および従業員数は令和7年1月1日時点

委員会開催



ICT機器操作風景



## 取組内容・成果

### 職員の理想とするケアの実現を目指して～人材不足の中での挑戦～

#### 1 ICT機器の導入

- ・従前の階層別研修等に加え、生産性向上の研修を実施し、取り組みの必要性や進め方を職員に浸透。
- ・多職種からなるプロジェクトチームを結成し、現場の課題分析から機器の選定。
- ・デモ機を試すなどして現場職員に必要な使いやすいものを導入、効果測定等を推進。
- ・機器の効果を最大限に生かせるよう、導入後もメーカーと改良点などを定期的に意見交換し、改良を重ねながら現場での定着化を推進。
- ・機器を導入してもうまく活用できていない施設や、機器導入を検討している施設の見学を県内外から受入。

#### 2 業務改善

- ・職員の1日あたり記録時間が、58.5分から31.9分へ、約46%減少。利用者とのコミュニケーション時間が、136.0分から148.4分へ、約9.1%増加。
- ・介護、看護、リハビリ職員の1人あたりの1年の有給休暇が、9.2日から12.2日へ、約32.6%増加。1月の残業時間が、0.5時間から0.3時間へ、40%減少。夜勤配置職員が、5.0人から4.5人に減少。
- ・また、介護助手の活用で介護職員に余裕が生まれケアの質の向上につながる。
- ・ストレスチェックによる総合健康リスクは、全国平均は100であるが、当施設は102(R元)から97(R6)に良化。
- ・県が行う「介護現場革新に向けた先駆的モデル事業所創出事業」に応募し、ペーパーレス化に取り組む。

# グループホームまんでん塩津（厚生労働大臣表彰奨励賞）

## 基本情報

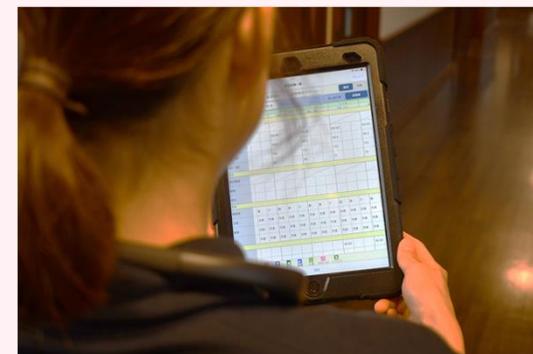
- ◆ 社会福祉法人まんでん
- ◆ グループホームまんでん塩津
- ◆ 滋賀県長浜市
- ◆ 利用者数:18名 従業員数:18名
- ◆ HP:<https://www.man-ten.org/>

※利用者数および従業員数は令和7年1月1日時点

## インカム活用



## タブレット記録活用



## 取組内容・成果

### 1 週休3日制の導入

- ・業務量の分析、適切な人員配置の検討をもとに業務の標準化、役割分担の明確化を実施。
- ・これにより、法人全体にて週休3日制(1日10時間勤務)を導入。
- ・管理者が現場職員の意見聴取を行うとともに、職員同士でも会議や業務改善の積み重ねを行うなど、全体での取組となった。
- ・**年間公休数が112日から167日へ、52%増。**

### 2 ICTの導入

- ・夜間業務の負担軽減、職員間のコミュニケーションを円滑に行い、業務の効率化を図るため、見守り機器、インカム、タブレット端末を導入。
- ・円滑な操作に向け、操作マニュアルの作成、職員向け勉強会を実施。
- ・操作が苦手な職員に対しては、伴走しながらフォローアップ。
- ・**ICT特化選抜チームを結成し、厚生労働省の手引を参考に、業務改善活動を継続的に行える体制を確立。**
- ・**夜間の巡視時間が75分から10分へ、87%減。**

# ゆうらいふ居宅介護支援事業所(厚生労働大臣表彰奨励賞)

## 基本情報

- ◆ 特定非営利活動法人ゆうらいふ
- ◆ ゆうらいふ居宅介護支援事業所
- ◆ 滋賀県守山市
- ◆ 利用者数:415名 従業員数:11名
- ◆ HP:<https://www.youlife.ne.jp>

※利用者数および従業員数は令和7年1月1日時点



## 取組内容・成果

### 1 タスクシフト

- ・介護支援専門員(ケアマネージャー)が行っている事務業務の整理を実施。
- ・事務職員が行うことができる業務については、タスクシフトを実施。
- ・**ケアマネージャー1人当たりの平均担当件数が約42件から約52件へ、約24%増(1月あたり)**

### 2 ICT推進

- ・業務効率化のため、タブレット端末、ケアプランデータ連携システム、チャットツールを導入。
- ・訪問先での記録の入力等、給付管理業務の効率化、チャットによる利用者、利用者家族との連絡を実施。
- ・他法人と協力し、居宅介護事業所やサービス事業所と勉強会を実施。
- ・チャットの利用により、**利用者との電話通話時間が約6時間から約3時間へ、50%減(1月あたり)**。